



【教育目標】 人間愛に根ざし、自他の生命と人格を尊重し、知・徳・体の調和した、豊かな個性と創造力を持ち、心も体も健康な南小の子供を育てる

- ◎ふかく考える子(重点目標)・・・他者と協働し、問題を解決することのできる児童の育成
(個別最適な学びと協働的な学びの往還、探究的な学習の推進)
- なかよく助け合う子・・・自他の生命と人格を尊重する、思いやりのある児童の育成
(あいさつ、適切な言葉遣い、丁寧な清掃活動等)
- ねばり強くやり通す子・・・困難に負けない、試練に打ち勝つ児童の育成
(トライアンドエラーの経験、「努力や過程」の重視)
- 明るく元気な子・・・心も体も健康な児童の育成
(自尊感情や自己肯定感、体力向上に向けた取組、外遊びの充実等)

～ コミュニティ・スクールの充実 ～ (地域と共にある学校づくり)

【目指す学校像】

- ・ 子どもが通いたい学校 「今日が楽しく、明日が待たれる学校」「友達を思いやり互いを認め合う」「学び合い一人一人が伸びる」「行事が楽しく自分の居場所がある」
- ・ 保護者の皆様が通わせたい学校 「安全で、安心して子供を通わせられる」「協力し共に子供を育てる学校」「何でも相談できる」「学力を高め豊かな心を育ててくれる」
- ・ 地域の方々が誇りにできる学校 「社会に開かれ地域の力を生かす学校」「地域文化の中心となる学校」「学校へ足を運びやすい、地域と協力してくれる学校」
- ・ 教職員が働きたい学校 「組織の一員として互いに尊重し合い、力を発揮できる学校」「切磋琢磨し学び合える学校」「働きがいと働きやすさの両立」



(1) 学力の向上 (「主体的・対話的で深い学び」を目指して)

- 校内研究を通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通じた授業変革を推進する。
- 朝のモジュール学習を通して基礎学力の定着を図るとともに、対話を重視した学習活動を充実させる。
- 探究的な学習や体験活動等を大切に、子供同士あるいは多様な他者と協働しながら問題を解決する力を育む。
- 一人1台端末等のICT機器を効果的に活用し、学習の個別最適化や協働的な学びを推進する。

(2) 心と体の育成 (子どもの権利を尊重した学校づくりの推進)

- 人権教育及び道徳教育を充実させ、自他の生命と人格を尊重し、いじめ根絶に向けた取組を徹底する。
- 特別支援教育コーディネーターを中心に SC やSSWと連携し、教育相談体制を充実させる。
- 特別支援教室「くじらぐも教室」との連携を更に深め、個に応じた支援を一層充実させる。
- 児童の心に寄り添う学級・学年・学校経営を推進するとともに、不登校児童への個別対応の充実を図る。
- 野川、武蔵野公園、はけなど、地域の教育資源を活用し、自然への理解を深め、自然を守る態度を育てる。
- たてわり活動を充実させ、かかわり合い、認め合い、支え合う心を育てる。
- 南タイム(読書)や図書ボランティアとの連携を図り、読書活動を推進することを通して、読書の喜びを実感させる。
- 運動朝会や運動委員会の取組を充実させるとともに、体力テストの結果を授業改善に生かし、体力の向上を図る。
- セーフティ教室の実施等、学校安全計画に基づき、自分の安全は自分で守る能力・態度を育てる。
- 日々の給食指導を通して食への興味・関心を高めさせ、食育の推進を図る。

(3) 信頼される学校づくり (「地域と共にある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」を目指して)

- 学校運営協議会での熟議や学校評価アンケート等を学校経営に反映させるとともに、地域学校協働活動を充実させ、よりよい教育環境をつくる。【放課後子ども教室・地域未来塾(CoCo みなみ)・南小フェスティバル】
- 学校・学年だより、HP、まなびポケットを活用して教育活動の様子を積極的に発信し、保護者や地域の方々に本校の教育活動を理解していただくとともに、学校との信頼関係を築く。
- 近隣の大学や専門学校、保護者や地域の授業協力者との連携を深め、体験活動を重視した授業づくりを行う。
- ICTの効果的な活用や南小サポーターとの連携により、学校の働き方改革を更に推進する。
- 教職員が、共に働き、共に学ぶ学校づくりを通して、「チーム南小」としての教育力を更に高めていく。
- 挨拶や清掃活動などに率先垂範の姿勢で取り組み、児童と共にある教師を目指す。